



12月4日から10日までの一週間は人権週間です。世界人権宣言のなかには、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、尊厳と権利において平等である。」と謳われています。

私たちは、ややもすると自分のことだけを考えてしまいがちですが、子どもたちには、周りの人を思いやる心を持ち、その心を形として表していくことが重要です。周りの人を大切にすることは、何より自分自身を大切にすることにつながることに気づいてほしいと願っています。

子どもたちの生活のなかで見逃してはならない問題として「いじめ」があります。子どもたちの心の奥の悩みや不安に寄り添い“いじめは卑劣で、けっしてゆるされない行為だ”ということを今一度しっかり考えさせねばと思います。子どもの見せる小さな変化から子どもの困りごとや悩みに気づき、解決に向け、子どもたちと共に考え、取り組んでいきたいと思えます。

学校では、いろいろな機会を通して「自分も人も大切に思う心を育てる」取り組みを進めてきましたが、まだまだ十分であるとはいえません。今後も、積極的に人権教育に取り組み、思いやりの心を持ち、みんなと助け合い、お互いを認め合い支え合う学校づくりを進めていきたいと思えます。ご理解とご協力をお願いいたします。

観劇会

10月27日に全校児童が夢と魔法のイリュージョンミュージカル「アラジンと魔法のランプ」を鑑賞しました。“夢は自分でつかむもの”というテーマを、魔法のランプと三つの願いを通して伝えてくれました。歌と踊りと不思議いっばいの一時でした。



頑張ったよ、校内音楽会

11月7日(金)校内音楽会、とても素晴らしかったです。子どもたちみんなが音楽科の時間を中心に一生懸命頑張って練習してきた成果です。一日や二日の練習で今日のような演奏ができるものではありません。子どもたちの無限の能力に感心しました。

また、朝早くからたくさんの保護者にお越しいただき、音楽会の後の一日授業参観もしていただき、本当にありがとうございました。



体力向上トレーニングプログラム

体力向上のためのトレーニングプログラムを10月10日、31日、11月21日の3日間、セレッソ大阪の指導者が教えにきてくれました。対象は4～6年生で、ラダートレーニング、ボールを使ったトレーニングやゲームなどをとても楽しく取り組むことができました。

最後の日にはサッカーボールを使って、二人組のドリブルトレーニングを教してもらい、リフティングや正確なキックも披露してくれました。ありがとうございました。これからもトレーニングプログラムを続けたいと思えます。



読み聞かせボランティア

本の読み聞かせボランティア「ざいん」の方々が、人形劇「泣いた赤おに」を子どもたちに披露してくださいました。人形から舞台まですべて手づくり、物語の進行に伴って登場する人形や舞台背景が次々に変わることが子どもたちの興味を引いたようで、真剣に聞き入っていました。

「ざいん」の皆さんありがとうございました。

読み聞かせ活動に興味や関心をお持ちの方がおられましたら、ぜひご協力くださるようお願いいたします。学校までご一報いただけたらありがたいです。



金先生との学習会

11月18日と25日に民族講師の金先生との学習会を実施しました。

低学年はいろいろな遊びや民話などを通して、中学年は言葉や習慣を通して、高学年は歴史や在日の方々の存在を通して日本と韓国・朝鮮の結びつきの深さや、違いを認め合うことの大切さを学びました。



安全・安心教室

(10月30日 1年生)

貝塚市教育研究センターの先生に、自分たちの生活のまわりで気をつけないといけないことや、自分の身を守ることの大切さを教えてもらいました。

(11月11日 6年生)

NTTドコモの方に、ケイタイの安全な使い方、怖さを教してもらいました。大切なことは、個人情報を入力しない、誹謗中傷も絶対にしない、何より家族でルールを決めることが大事だと教えてもらいました。

(11月20日 3年生)

アルソックの方に、自分の身は自分で守れるように、具体例を挙げながら教えてもらいました。